

2026年知財・情報フェア：AIエージェントが変える知財実務の最前線

過去最多の来場者と拡大する展示規模

15,502

登録来場者数(2026年)



3日間累計で過去最多を記録、前年比で1.9%増加。ブースの大型化が進行：1社あたりの小間数が2.15へ増え、展示の大型化が顕著。



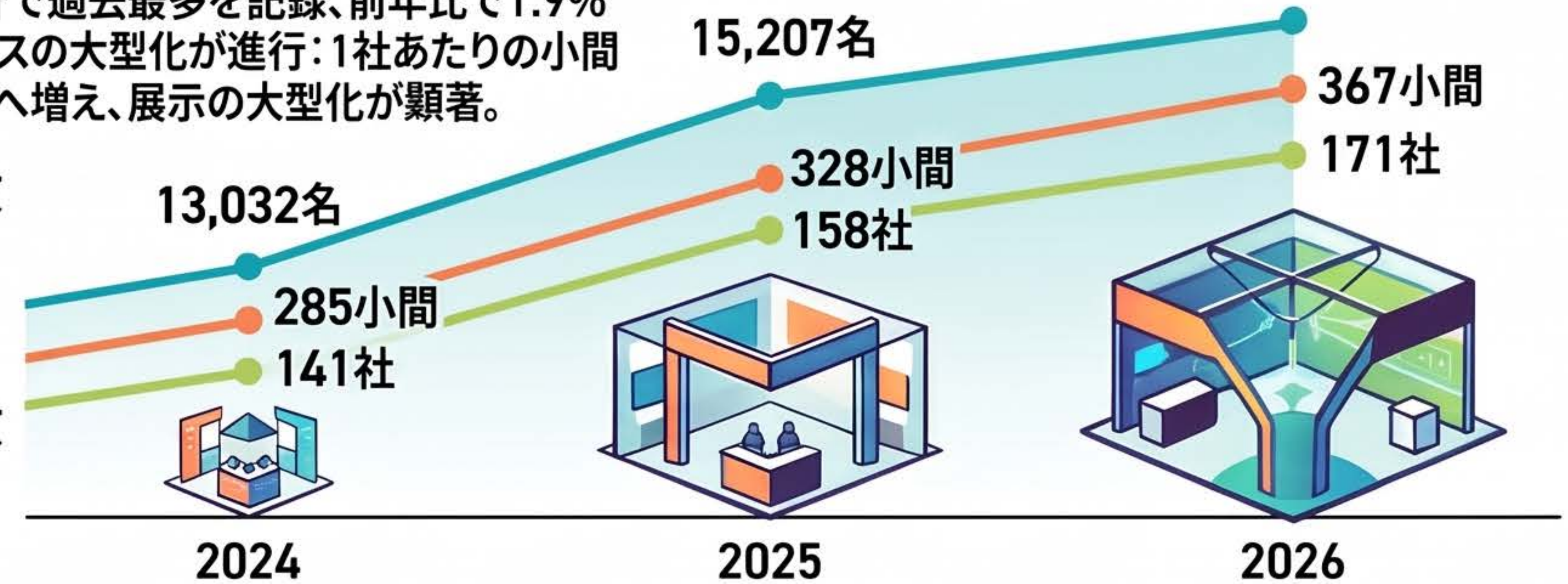
来場者数



小間数



出展者数



AI活用の進化：MCPとエージェントの台頭

70%

プレゼンの約7割がAI関連
(107枠中、大多数がAIを主題に)

MCP：汎用AIから特許DBを直接呼び出す、新たな接続方式が注目。

MCP (Model Context Protocol)



公開情報の接続活用と、
未公開情報の秘匿環境への
二極化が進展。



汎用AI

つながり型 (公開情報の接続活用)



出さない型 (未公開情報の秘匿環境への二極化)



未公開情報の秘匿環境